



さかえ

令和3年
6月号
第451号

発行/栄村役場



～新型コロナワクチン接種～

5月から65歳以上の方への接種が開始され、6月には第2回目の接種が始まっています。

村民の皆様のご協力によりスムーズに接種が行われています。(関連記事 P 2)

主な内容

- 栄村診療所内科の診療日時について……………P 3
- 梅雨への備え、避難情報の変更について……P 4
- 栄村議会の新体制について……………P 5
- 栄村職員募集について……………P 5
- 各種お知らせ……………P 6-7
- 保健だよりほか……………P 8-14

ギフチョウなどの保護を回す、津南町と連携して！

希少動植物調査員
からの報告⑦



今年新たに確認した生息地で産卵するギフチョウ（北信地区にて）

今年も四月下旬から村内各地で可憐なギフチョウ（環境省・絶滅危惧Ⅱ類、長野県・準絶滅危惧種）が飛び始めました。今年の調査では、昨年未調査だった場所においても、複数か所でギフチョウを目撃したり、産卵を確認しました。また、ギフチョウを増やすために、私たちが試験的に食草を移植した場所でも、産卵が確認されました。大変うれしいことです。

こうしたギフチョウの発生に先立ち、昨年同様に秋山地区をはじめ村内各所に、下の写真のようなギフチョウ等に関する情報提供をお願いする看板を設置しました。早速この看板を見た村内の方から、「看板の写真と同じギフチョウを見た！」という情

報をいただきました。ありがたいことです。ギフチョウに限らず、希少な動植物を保護していくためには、村民の皆さんから関心を持っていただくことが何よりも大切です。

それとともにこの看板は、村内に來ているマニアなどの採集者に、「栄村でも、保護に向けた取組が始まっている」と知らしめ、捕虫網を振らせにくくする抑止力としての効果も狙っています。

実際に四月終わりに津南町から連絡がありました。秋山地区の栄村との境界近くで捕虫網を振っている三人の採集者がいるとのことでした。さらに、その採集者に話を聞くと、「栄村には看板が立てられていて捕虫網を振りにくいので、それが無い津南町の方に来て採集している」と話していたそうです。これは、看板が少なからず、採集者への抑止力になった例です。

今年も、新型コロナウイルスへの緊張感が緩んでいるせいも、昨年以上の採集者が村内に入り込んでいます。中には、ギフチョウ保護のため、ギフチョウを育てて放すようにしたそばにきて捕虫網を振っている採集マニアもいたそうです。全く啞然とさせられます。

ギフチョウなどの採集を市町村の条例等によって規制するところが増えつつあり、採集者がまだ規制のない場所を狙ってやってくる状況もあるようです。業者による採集ツアーも行われています。

現在、当村に生息する希少動植物のうち、ブッポウソウやシナイモツゴ、トキソウ、オキナグサなどの一部は、長野県の指定する希少野生動植物として、採取や譲渡等が制限されています。しかし、ギフチョウについては、現在指定外であり、栄村も津南町も法的に採集者を規制することはできません。

津南町でも看板設置！

津南町でも、前述の出来事を受けて、栄村と同様に看板を急ぎよ設置することになりました。これは大変重要なことです。なぜならば、栄村と津南町とは、苗場山麓ジオパークに認定されているように、動植物の分布などの自然環境が、連続した一つの貴重な地域とされているからで

2021年度 栄村希少動植物調査実施中
情報をお聞かせください！

ギフチョウをはじめ、地域の宝物である希少な動植物の保護を考慮するため、調査活動を行っています。ギフチョウやふだん見慣れない動植物を見かけた方は、下記までご連絡ください。なお、調査員も巡回しています。情報提供等、ご協力をお願いいたします。



100年産も、地域の希少な動植物が、人といっしょに暮らせる地域であり続けるように。



ギフチョウ。産卵後、4月下旬から6月上旬にかけて飛来します。

◆連絡・お問い合わせはこちらへ
栄村教育委員会事務局 TEL: 0269-87-3118 FAX: 0269-87-1025
E-mail: syougai@vill.ankae.nagano.jp
〒389-2792 長野県下木内郡栄村大字北尾 3433

村内各地に立てたギフチョウ等の情報提供をお願いする看板



長野県希少野生動植物
がご覧いただけます。

す。県境を自由に飛び越えていくギフチョウ等の保護についても、協力し連携して取り組んでいくことがぜひとも必要です。今その一歩が始まっています。

村内の各地区にあつては、現在「山菜採り禁止」といった看板が各所に立てられています。その脇に、もう一言、「ギフチョウ等、動植物を採らないでください。大事にしてください」と書き添えていただくといいと思います。採集者にとっては捕虫網を振りにくくなるのではないかと思います。（希少動植物調査員・涌井泰二）

